

ロックとSF年表

作成：渡辺睦夫（協力：磯達雄、渡辺英樹）
 参考資料『ストレンジ・スターズ』ジェイソン・ヘラー（駒草出版）

2022年11月6日（日）名古屋SFシンポジウム配布資料

	S F	T V 映画 漫画 雑誌 出来事	ロック
～1949	ハインライン「地球の緑の丘」(47) →難波弘之「地球の緑の丘」(79) ブラッドベリ「万華鏡」(49) →SENSE OF WONDER「万華鏡」(87)		
1950	アシモフ『われはロボット』 →アラン・パーソンズ・プロジェクト『アイ・ロボット』(77) ブラッドベリ『火星年代記』 →ソラリス『火星年代記』(84)	英コミック『ダン・デア』(～1967) ※科学顧問 アーサー・C・クラーク →エルトン・ジョン「ダン・デア(未来のパイロット)」(75) →ミーコンズ(Mekons)「ダン・デア」(79)	
1951	アシモフ『銀河帝国の興亡1～3』(51～53) →デヴィッド・ベッドフォード『星界のはて(Star's End)』(74) ブラッドベリ「今夜限り世界が」 →難波弘之「今夜限り世界が」(2013)		D.J.アラン・フリードが「ロックンロール」という名称をラジオで使い始める。
1952		漫画『鉄腕アトム』(～1968) →山下達郎「アトムの子」(91)	
1953	クラーク『幼年期の終り』 →ジェネシス「ウォッチャー・オブ・ザ・スカイズ」(72) →ピンク・フロイド「大人への躍動(Childhood's End)」(72) →難波弘之『Childhood's End～幼年期の終り～』(2013) ハインライン『スターマン・ジョーンズ』 →デヴィッド・ボウイ「スターマン」(72) スタージョン『人間以上』 →P・モデル「ホモ・ゲシュタルト」(93) ブラッドベリ『華氏451度』 →ユートピア「華氏451度」(82)		
1954	アシモフ『鋼鉄都市』 →難波弘之「鋼鉄都市」(79)		ビル・ヘイリー&ヒズ・コメッツ「ロック・アラウンド・クロック」

1955	<p>ウィンダム『さなぎ』 →ジェファーソン・エアプレイン 「クラウン・オブ・クリエーション」(68)</p> <p>ブラウン『火星人ゴースト』 →難波弘之「火星人ゴースト」(79)</p> <p>ブラッドベリ「いちご色の窓」 →難波弘之「いちご色の窓」(79)</p>		
1956	<p>クラーク『都市と星』 →難波弘之「都市と星」(79)</p> <p>ベスター『虎よ、虎よ!』 →難波弘之「虎よ、虎よ!」(79)</p>		<p>エルヴィス・プレスリー「冷たくしないで」「ハウンド・ドッグ」「ラブ・ミー・テンダー」</p> <p>リトル・リチャード「のっぽのサリー」</p> <p>カール・パーキンス「ブルー・スエード・シューズ」</p>
1957	<p>ハインライン『夏への扉』 →難波弘之「夏への扉」(79) 山下達郎「夏への扉」(80)</p>		<p>エルヴィス・プレスリー「監獄ロック」</p> <p>パディ・ホリー「ザットル・ビー・ザ・デイ」「ペギー・スー」</p>
1958			<p>チャック・ベリー「ジョニー・B・グッド」</p> <p>エディ・コ克蘭「サマータイム・ブルース」</p>
1959	<p>ダニエル・キイス「アルジャーノンに花束を」 →難波弘之「アルジャーノンに花束を」(79)</p> <p>ハインライン『宇宙の戦士』 →イエス「スターシップ・トゥルーパー」(71)</p> <p>ヴォネガット『タイタンの妖女』 →アル・スチュアート「Sirens of Titan」(75)</p> <p>ディック『時は乱れて』 →Dave Schramm「Ragle Gumm」(99)</p>		
1960	<p>バラード「音響清掃」 →バグルズ「ラジオスターの悲劇」(80)</p>	『SFマガジン』創刊	

1961	<p>スタニスワフ・レム『ソラリス』 →難波弘之「ソラリスの陽の下に」(79) →ソラリス(ハンガリーのバンド) クラーク『渇きの海』 →難波弘之「渇きの海」(81) ハインライン『異星の客』 →ジェファーソン・エアプレイン「トライアド」(68) →バーズ「トライアド」(68) →CSN&Y「トライアド」(71) →レオン・ラッセル 「ストレンジジャー・イン・ア・ストレンジ・ランド」(71) ウィリアム・S・パロウズ『ソフト・マシーン』 →ソフト・マシーン(バンド) マイクル・ムアコック「夢見る都」(「Science Fantasy」掲載) ハーラン・エリスン『Memos From Purgatory』(ノンフィクション) →デヴィッド・クロス『メモズ・フロム・パーガトリー』(91)</p>		
1962	<p>アントニー・バージェス『時計じかけのオレンジ』 →難波弘之「柔らかな時計じかけのオレンジ」(2013) バラード『狂風世界』『沈んだ世界』 ディック『高い城の男』 →ロバート・フリップ&ブライアン・イーノ 「ヘヴンリー・ミュージック・コーポレーション」 「スワステイカ・ガールズ」(73)</p>		<p>ビートルズ「ラブ・ミー・ドウ」 トルネーズ「テルスター」</p>
1963		TV『ドクター・フー』	<p>ビートルズ「シー・ラブズ・ユー」「抱きしめたい」 ボブ・ディラン「風に吹かれて」 ビーチ・ボーイズ「サーフィンUSA」</p>
1964	<p>ウィリアム・S・パロウズ『ノヴァ急報』 →ラブ・トラクター「Nova Express」(88) バラード『燃える世界』</p>	マイクル・ムアコック、25歳で「New Worlds」編集長に就任	<p>ビートルズ「キャント・バイ・ミー・ラブ」「ア・ハード・デイズ・ナイト」 ビーチ・ボーイズ「アイ・ゲット・アラウンド」 キングス「ユー・リアリー・ガット・ミー」</p>
1965	<p>ムアコック『ストームブリンガー』他(エルリック) →ホークウインド『黒剣年代記』(85) ハーバート『デューン』 →リチャール・ピナス『クロノリス』 クラウス・シュルツ『デューン』 ジャイアント・サンド(バンド) SENSE OF WONDER「オーニソプター」(87) SENSE OF WONDER「Dune」(88) ディック『パーマー・エルドリッチの三つの聖痕』 →難波弘之「パーマー・エルドリッチの三つの聖痕」(81)</p>		<p>ビートルズ「涙の乗車券」「ヘルプ」 ローリング・ストーンズ「サティスファクション」 バーズ「ミスター・タンブリン・マン」「すっきりしたぜ」 ボブ・ディラン「ライク・ア・ローリング・ストーン」 ビーチ・ボーイズ「カリフォルニア・ガールズ」 ザ・フー「マイ・ジェネレーション」</p>

1966	<p>フアーマー『Night of Light』 →ジミ・ヘンドリックス「パープル・ヘイズ」(67) ハインライン『月は無慈悲な夜の女王』 →ジョー・コッカー「The Moon Is a Harsh Mistress」(74) →ジミー・ウェット「The Moon Is a Harsh Mistress」(77) ハリスン『人間がいっぱい』 バラード『結晶世界』 →ラブ・トラクター「Crystal World」(88) ディレーニイ『エンパイア・スター』『パベル-17』 ゼラズニイ『わが名はコンラッド』</p>	<p>TV『スター・トレック』(～1969) TV『ウルトラQ』 →難波弘之「Ultra Q」(2013) ポール・ウィリアムズ『Crawdaddy』創刊</p>	<p>ビートルズ『リボルバー』 バーズ『霧の五次元』(「ミスター・スペースマン」収録) ビーチ・ボーイズ『ペット・サウンズ』「グッド・ヴァイブレーション」 ジェファーソン・エアプレイン『テイクス・オフ』</p>
1967	<p>ゼラズニイ『光の王』 →ホークウインド「Lord of Light」(72) ディレーニイ『アインシュタイン交点』 エリソン編『危険なヴィジョン』</p>	<p>6月 モンタレー・ポップ・フェスティヴァル 夏 サマー・オブ・ラブ(ヒッピー・ムーヴメント)</p>	<p>ビートルズ『サージャント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』 ローリング・ストーンズ『サタニック・マジスティーズ』(「故郷から2000光年」収録) バーズ『昨日より若く』 ピンク・フロイド『夜明けの口笛吹き』 ニルヴァーナUK『ザ・ストーリー・オブ・サイモン・サイモパス』 ジミ・ヘンドリックス「パープル・ヘイズ」 ジェファーソン・エアプレイン『シュールリアリスティック・ヒーロー』 グレイトフル・デッド『グレイトフル・デッド』</p>
1968	<p>ディック『アンドロイドは電気羊の夢を見るか』 →チューブウェイ・アーミー『幻想アンドロイド』(79) →立花ハジメ『テッキー君とキップルちゃん』(84) ディレーニイ『ノウァ』 ブラナー『Stand on Zanzibar』 ムアコック『The Final Programme』(ジェリー・コーネリアス) →デヴィッド・ボウイ『ジギー・スターダスト』(72) ラファティ『宇宙舟歌』 →難波弘之「SPACE CHANTEY(宇宙舟歌～ただし、船酔い気味の)」(2016) 荒巻義雄「柔らかい時計」(「宇宙塵」版) 難波弘之「柔らかい時計じかけのオレンジ」(2013)</p>	<p>4月 『2001年宇宙の旅』 7月20日 アポロ11号、月面着陸 8月 シャロン・テート殺害事件</p>	<p>1月15日 バーズ『名うてのバード兄弟』(「スペース・オデッセイ」収録+ボーナス・トラック「トライアド」) 7月11日 デヴィッド・ボウイ「スペース・オディティ」(シングル) ビートルズ『ザ・ビートルズ』 バーズ『ロデオの恋人』 ピンク・フロイド『神秘』 ジェファーソン・エアプレイン『創造の極致』(「クラウン・オブ・クリエーション」「トライアド」収録) グレイトフル・デッド『太陽の賛歌』</p>
1969	<p>ムアコック『暗黒の廻廊』 →ホークウインド「Black Corridor」(73) ムアコック『A Cure for Cancer』(ジェリー・コーネリアス) ディック『ユービック』 →ヒューマン・リーグ「サーカス・オブ・デス」(79) ノーマン・スピラッド『Bug Jack Barron』 ゼラズニイ『地獄のハイウェイ』 →ホークウインド「Damnation Alley」(77) ノーマン・スピラッド「ビッグ・フラッシュ」</p>	<p>8月 ウッドストック 12月 オルタモントの悲劇</p>	<p>ゼーガーとエバンズ「西暦2525年」 デヴィッド・ボウイ『スペース・オディティ』 ビートルズ『アビー・ロード』 ザ・フー『トミー』 キング・クリムゾン『クリムゾン・キングの宮殿』 ジェファーソン・エアプレイン『ヴォランティアーズ』(「ウッドウン・シップス」収録) グレイトフル・デッド『アオクソモクソア』『ライヴ/デッド』(「ダーク・スター」収録) クロスビー・スティルス&ナッシュ『クロスビー・スティルス&ナッシュ』(「木の船」収録)</p>

1970	<p>ムアコック『永遠のチャンピオン』(エレコーゼ) →ホークウインド『絶体絶命』(75) ニーヴン『リングワールド』 →難波弘之『リングワールド』(79) バラード『残虐行為展覧会』 →ジョイ・ディヴィジョン「The Atrocity Exhibition」(80)</p>	<p>アルビン・トフラー『未来の衝撃』 山野浩一「若い創造としての〈ニューウェーブ〉と〈ニューポップス〉」(「SFマガジン」70-6)</p>	<p>デヴィッド・ボウイ『世界を売った男』 ビートルズ『レット・イット・ビー』 ピンク・フロイド『原子心母』 ホークウインド『ホークウインド(Hawkwind)』1 ジュリアンズ・トリートメント『ア・タイム・ビフォー・ジス』 ポール・カントナー『造反の美学(Blows Against The Empire)』(ヒューゴー賞候補) グレイトフル・デッド『ワーキングマンズ・デッド』『アメリカン・ビューティー』 ニール・ヤング『アフター・ザ・ゴールド・ラッシュ』 マグマ『マグマ』 ブラック・サバス『パラノイド』(「アイアン・マン」収録) ティム・バックレイ『スターセイラー』 ヴァン・ダー・グラフ・ジェネレーター『天地創造』(「パイオニアズ・オーヴァー・C」収録)</p>
1971	<p>バラード『ヴァーミリオン・サンズ』 →バグルズ「ヴァーミリオン・サンズ」(81) ロジャー・ゼラズニイ『影のジャック』 →ホークウインド「Jack of Shadows」(79) ジェイムズ・ティプトリー・Jr「マザー・インザ・スカイ・ウィズ・ダイヤモンドズ」 山野浩一「ロックでいこう」</p>	<p>映画『時計じかけのオレンジ』 TV映画『LA2017』(ステイヴン・スピルバーグ) ザ・フー『ライフハウス』断念 岡田英明(鏡明)「SFスキナー〜SF・オン・ザ・ロック」(「SFマガジン」71-11)</p>	<p>イエス『サード』(「スターシップ・トゥルーパー」収録)『こわれもの』 ELP『タルカス』 ジェネシス『怪奇骨董音楽箱』 ホークウインド『宇宙の探究(In Search of Space)』2(「マスター・オブ・ザ・ユニヴァース」収録) ネクター『ジャーニー・トゥ・ザ・センター・オブ・ジ・アイ』 ベガーズ・オペラ『ウォータース・オブ・チェンジ』(「タイム・マシン」収録) ラムセス『宇宙賛歌』 キングダム・カム(アーサー・ブラウン)『銀河動物園白書』 T・レックス『電気の武者』(「プラネット・クイーン」収録) ポール・カントナー&グレース・スリック『サンファイター』 CSN&Y『4ウェイ・ストリート』(「トライアド」収録) レオン・ラッセル『レオン・ラッセル・アンド・ザ・シェルター・ピープル』 (「ストレンジジャー・イン・ア・ストレンジ・ランド」収録) タンジェリン・ドリーム『アルファ・ケンタウリ』</p>
1972	<p>ノーマン・スピンラッド『鉄の夢』 →エルドン(リチャール・ピナス) 山野浩一「子供の頃はくは狼を見ていた」</p>	<p>映画『サイレント・ランニング』、『惑星ソラリス』、『スローターハウス5』、『ソイレント・グリーン』、『スリーパー』 川又千秋「明日はどっちだ!」(「SFマガジン」72-4) 岡田英明(鏡明)「SFスキナー〜対抗文化なのです」(「SFマガジン」72-10) ポール・ウィリアムズ「なぜ僕はSFを読むのか?」(「SFマガジン」72-11)</p>	<p>デヴィッド・ボウイ『ジギー・スターダスト』(「スターマン」収録) エルトン・ジョン『ホンキー・シャドウ』(「ロケット・マン」収録) ジェネシス『フォックスロット』(「ウォッチャー・オブ・ザ・スカイズ」収録) ピンク・フロイド『雲の影』(「大人への躍動(Childhood's End)」収録) キングス『この世はすべてショー・ビジネス』(「スーパーソニック・ロケットシップ」収録) ホークウインド『ドレミファソラシド(Doremi Fasol Latido)』3(「Lord of Light」収録) ディープ・パープル『マシン・ヘッド』(「スペース・トラッキン」収録)</p>

1973	<p>マイクル・G・コニイ『Friends Come in Boxes』 →チューブウェイ・アーミー『幻想アンドロイド』(79) バラード『クラッシュ』 →ゲイリー・ニューマン「カーズ」(79) →ラブ・トラクター「Crash」(88)</p>	<p>映画『ウェストワールド』『The Final Programme』</p>	<p>ELP『恐怖の頭脳改革』 ジェネシス『月影の騎士』 クイーン『クイーンII』 ホークウインド『宇宙の祭典 (Space Ritual)』4(「Black Corridor」収録) ロバート・フリップ&ブライアン・イーノ『ノー・プッシーフッティング』 (「ヘヴンリー・ミュージック・コーポレーション」「スワスティカ・ガールズ」収録) クラフトワーク『ラルフ・ウント・フロリアン』 カン『フューチャー・デイズ』 クラウド・シュルツ『サイボーグ』 ゴング『フライング・ティーポット』 アクア・フラジール『アクア・フラジール』(「SF組曲」収録) ロイ・ウッド『ボウルダーズ』(「ミス・クラーク・アンド・ザ・コンピューター」収録) ELO『ELO2』(「フロム・ザ・サン・トゥ・ザ・ワールド」収録) ジョブライアス『謎のジョブライアス』 サン・ラー『スペース・イズ・ザ・プレイス』 ファンカデリック『コズミック・スロップ』</p>
1974	<p>バラード『コンクリートの島』</p>	<p>映画『サン・ラーのスペース・イズ・ザ・プレイス』 (アフロ・フューチャリズム) 岡田英明(鏡明)「SF・オン・ザ・ロック」連載(旧『奇想天外』)</p>	<p>デヴィッド・ボウイ『ダイヤモンドの犬』(「1984」収録) ジェネシス『眩惑のプロードウェイ』 ホークウインド『永劫の宮殿 (Hall of the Mountain Grill)』5 ロバート・カルヴァート『キャプテン・ロッキード・アンド・ザ・スターファイターズ』 リック・ウェイクマン『地底旅行』 セヴンス・ウェイヴ『来るべき世界』 ピーター・ハミル『ザ・サイレント・コーナー・アンド・ジ・エンプティ・ステージ』(「レッド・シフト」収録) デヴィッド・ベッドフォード『星界のはて (Star's End)』 ジョー・コッカー『アイ・キャン・スタンド・ア・リトル・レイン』(「The Moon Is a Harsh Mistress」収録) ブルー・オイスター・カルト『オカルト宣言』(「天文学」収録) エルドン(リチャール・ピナス)『エレクトロニック・ゲリラ』 サディスティック・ミカ・バンド「タイムマシンにお願い」</p>
1975	<p>バラード『ハイ・ライズ』 →ホークウインド「High-Rise」(79) バラード「低空飛行機」 →デヴィッド・クロス『Low Flying Aircraft』(87) G・R・R・マーティン「ただ一日の昨日とひきかえに」</p>		<p>ホークウインド『絶体絶命 (Warrior on the Edge of Time)』6 マイクル・ムアコック&ザ・ディープ・フィックス『ニュー・ワールズ・フェア』 クイーン『オペラ座の夜』(「39」収録) エルトン・ジョン『ロック・オブ・ウェスティーズ』(「ダン・デア (未来のパイロット)」収録) セヴンス・ウェイヴ『サイ・ファイ (psi-fi)』 ブライアン・イーノ『アナザー・グリーン・ワールド』 ブルー・オイスター・カルト『地獄の咆哮』 アル・スチュアート『追憶の館』(「Sirens of Titan」収録) スコピオンズ『復讐の蠍団 イン・トランス』(「ロボット・マン」収録) ヴァンゲリス『天国と地獄』 ピー・バップ・デラックス『フューチャラマ』 パラメント『マザーシップ・コネクション』 四人囃子「空飛ぶ円盤に弟が乗ったよ」</p>

1976		映画『地球に落ちてきた男』	<p>7 T・レックス『銀河系よりの使者 (Futuristic Dragon)』 ビー・バップ・デラックス『モダン・ミュージック』(「ハネムーン・オン・マーズ」収録) ヴァン・ダー・グラフ・ジェネレーター『スティル・ライフ』(「チャイルドライク・フェイス・イン・チャイルドフズ・エンド」収録) ジョン・アンダーソン『サンヒーローのオリアス』 ヴァンゲリス『反射率0.39』 アラン・パーソンズ・プロジェクト『怪奇と幻想の物語 - エドガー・アラン・ポーの世界』 クラトゥ『クラトゥ』(「星空への旅立ち」収録→カーペンターズが後にカバー) ブルー・オイスター・カルト『タロットの呪い』 ジェファーソン・スターシップ『スピットファイア』(「ソング・トゥ・ザ・サン」収録) ラッシュ『2112』 パラメント『ファンケンシュタイン博士のクローン』 ファー・イースト・ファミリー・バンド『多元宇宙への旅』</p>
1977		映画『スター・ウォーズ』、『未知との遭遇』	<p>デヴィッド・ボウイ『ロウ』『ヒーローズ』 ブライアン・イーノ『ビフォー・アンド・アフター・サイエンス』 ホークwind『クォーク・ストレンジネス・アンド・チャーム (Quark, Strangeness and Charm)』8 (「Damnation Alley」収録) クイーン『世界に捧ぐ』(ジャケットはケリー・フリーズ) ELO『アウト・オブ・ザ・ブルー』 アラン・パーソンズ・プロジェクト『アイ・ロボット』 ジミー・ウェット『エル・ミラージュ』(「The Moon Is a Harsh Mistress」収録) ブルー・オイスター・カルト『スペクターズ』(「ゴジラ」収録) クラトゥ『ホープ』 マグマ『ライブ／ハイ』 ウルトラヴォックス『ウルトラヴォックス!』(「マシーンになりたい」収録)</p>
1978	マイケル・ムアコック&マイケル・バターワース 『The Time of the Hawklords』		<p>ブルー・オイスター・カルト『暗黒の狂宴〜B.O.C.ライブ』 ポストン『ドント・ルック・バック』 ジュダス・プリースト『ステンド・グラス』(「インヴェイダー」収録) アレックス・ハーヴェイ・バンド『ナイトメア・シティ』 ビー・バップ・デラックス『ドラスティック・プラスチック』 ディーヴォ『頹廢的美学論』 クラフトワーク『人間解体』 Xレイ・スベックス『X光線と発泡スチロール』 レジロス『レジロス登場!!』 ストラングラーズ『ブラック・アンド・ホワイト』(「ヘイ!(ロボットの勃興)」収録) ウルトラヴォックス『システム・オブ・ロマンス』(「ジャスト・フォー・ア・モーメント」収録) ジ・オンリー・ワンズ『ジ・オンリー・ワンズ』(「アナザー・ガール、アナザー・プラネット」収録) チューブウェイ・アーミー『チューブウェイ・アーミー』(「リッスン・トゥ・ザ・サイレンズ」収録) リチャール・ピナス『クロノリス』(タイトルはミッシェル・ジュリ、内容は『デューン』から) ジェフ・ウェイン『宇宙戦争』 宇宙からの物体X『SCIENCE FICTION(S.F.)』 原田真二『タイム・トラベル』</p>

1979	平井和正『真幻魔大戦』(1979~) →SENSE OF WONDER『真幻魔大戦』(84) 栗本薫「セイレーン」「Run with the Wolf」	映画『エイリアン』『スタートレック』『マッドマックス』 9月8・9日「フューチャラマ・フェスティバル」	ホークwind『PXR5』9(「Jack of Shadows」「High-Rise」収録) フランク・ザッパ『ジョーのガレージ』 ブルー・オイスター・カルト『ミラーズ』(「ザ・グレート・サン・ジュスター」ムアコックとの合作) ビル・ネルソンス・レッド・ノイズ『サウンド・オン・サウンド』 The B-52's『警告! THE B-52's来襲』(「惑星クレア」「天空に輝く月(スペース・エイジの到来)」収録) ジョイ・ディヴィジョン『アンノウン・プレジャーズ』(「インターゾーン」収録) ミーコンズ『The Quality of Mercy Is Not Strnen』(「ダン・デア」収録) チューブウェイ・アーミー『幻想アンドロイド(Replicas)』 ゲイリー・ニューマン『エレクトリック・ショック!(The Pleasure Principle)』(「カーズ」収録) ヒューマン・リーグ『人類零年』(「サーカス・オブ・デス」収録) チュー・トリック『ドリーム・ボリス』 クラウス・シュルツ『デューン』 ピート・シンフィールド&ブライアン・イーノ『Robert Sheckley's In A Land Of Clear Colors』 難波弘之『センス・オブ・ワンダー』 新月『新月』(「科学の夜」収録)
1980	ノーマン・スピラッド『星々からの歌』 山田正紀『宝石泥棒』 新井素子『グリーンレクイエム』 →SENSE OF WONDER『グリーンレクイエム』(84) 栗本薫「BURN(紫の炎)」 神林長平「ビートルズが好き」	5月18日 イアン・カーティス(ジョイ・ディヴィジョン)自殺 映画『スター・ウォーズ/帝国の逆襲』 TV「コスモス」(テーマ曲 ヴァンゲリス)	デヴィッド・ボウイ『スケアリー・モンスターズ』(「アッシュズ・トゥ・アッシュズ」収録) バグルズ『プラスチックの中の未来』(「ラジオスターの悲劇」収録) ホークwind『宇宙遊泳 -レヴィテーション(Levitation)』10 クイーン『フラッシュ・ゴードン』 ブルー・オイスター・カルト『カルトサウルス・エレクトラス』(「Black Blade」収録) ジョイ・ディヴィジョン『クローサー』(「The Atrocity Exhibition」収録) 山下達郎『Ride on Time』(「夏への扉」収録) バウワウ&Eプロジェクト『組曲Xボンバー』 フィルムス『ミスプリント』 PANTA & HAL『TKO NIGHT LIGHT』(「HALのテーマ」所収)
1981			バグルズ『モダンレコーディングの冒険』(「ヴァーミリオン・サンズ」収録) ホークwind『ソニック・アタック(Sonic Attack)』11 ELO『タイム』 ブルー・オイスター・カルト『呪われた炎』(「Veteran of the Psychic War」ムアコックと合作) 難波弘之『Party Tonight』
1982	小松左京『さよならジュピター』 →難波弘之「さよならジュピター~木星の彼方へ」 (2013) 大原まり子「銀河ネットワークで歌を歌ったクジラ」 →大原まり子、SENSE OF WONDER 『銀河ネットワークで歌を歌ったクジラ』(85) 難波弘之『飛行船の上のシンセサイザー弾き』	映画『ブレッドランナー』 映画『ヒューマン・ハイウェイ』 (ニール・ヤング+ディーヴォ)	ホークwind『チャーチ・オブ・ホークwind(Church of Hawkwind)』12 『チューズ・ユア・マスクス(Choose Your Masques)』13 ブルー・オイスター・カルト『E.T.L.~遥か彼方に地球を望み~』 トマス・ドルビー『光と物体』(「彼女はサイエンス」収録) ユートピア『スウィング・トゥ・ザ・ライト』(「華氏451度」収録) 難波弘之『飛行船の上のシンセサイザー弾き』
1983	G・R・R・マーティン『The Armageddon Rag』		ブルー・オイスター・カルト『ナイト・レポリション』 ステイクス『ミスター・ロボット』 ブライアン・メイ&フレンズ『無敵艦隊スター・フリート』(『Xボンバー』のテーマ)

1984	ウィリアム・ギブスン『ニューロマンサー』		トマス・ドルビー『地地球』 ソラリス『火星年代記』 SENSE OF WONDER『真幻魔大戦』 SENSE OF WONDER『グリーンレクイエム』 立花ハジメ『テッキキ君とキップルちゃん』 戸川純『レーダーマン』 アポジー & ペリジー『超時空コロダスタン旅行記』
1985	キム・スタンリー・ロビンソン 『永遠なる天空の調べ (The Memory of Whiteness)』 ジョン・シャーリー『Eclipse』	映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』	ホークウインド『黒剣年代記 (The Chronicles of The Black Sword)』14 デヴィッド・ベッドフォード & アーシュラ・K・ル・グイン『Rigel 9』 難波弘之『ブルジョワジーの秘かな愉しみ』 大原まり子、SENSE OF WONDER『銀河ネットワークで歌を歌ったクジラ』 PSY・S『ディファレント・ビュー』（「I・E・S・P (アイ・エスパー)」収録)
1986	クラーク『遙かなる地球の歌』 →マイク・オールドフィールド『遙かなる地球の歌』(94) ルイス・シャイナー「ジェフ・ベック」	「SFマガジン」11月号(サイバーパンク特集)	ブルー・オイスター・カルト『倶楽部ニンジャ』 難波弘之『N氏の天球儀』 少年ナイフ『Pretty Little Baka Guy』（「ロケットにのって」収録）
1987	小松左京『虚無回廊 I・II』 難波弘之『虚無回廊』(2013) 難波弘之『ときめきrockin'way』		デヴィッド・クロス『Low Flying Aircraft』 SENSE OF WONDER『シンフォビート』（「万華鏡」「オーニソプター」収録） パール兄弟『Pearltron』 Pink『Cyber』
1988	ブルース・スターリング編『ミラーシェード』 ジョン・シャーリー『Eclipse Penumbra』	巽孝之『サイバーパンク・アメリカ』	ホークウインド『未知なる写本 (Zenon Codex)』15 ブルー・オイスター・カルト『イマジノス』 トマス・ドルビー『エイリアンズ・エイト・マイ・ビュイック』 ラブ・トラクター『Themes from Venus』（「Crash」「Crystal World」「Nova Express」収録） SENSE OF WONDER『アクアプラネット』（「Dune」収録）
1989	難波弘之『きらめきLovin'heart』		ウォーレン・ジヴォン『トランスヴァース・シティ』
1990	ジョン・シャーリー『Eclipse Corona』		ホークウインド『スペース・バンディッツ (Space Bandits)』16 たま『さよなら人類』

1991～	<p>難波弘之『鍵盤帝国の劇襲』(91) 小林信彦『イエスタデイ・ワンス・モア(Part2) -ミート・ザ・ビートルズ』(91) ジェフ・ゲルブ編『ショック・ロック』(92) ジョン・シャーリー「炎のテレパス」(92) ルイス・シャイナー『グリーンパス』(93/小川隆・訳) G・A・エフィンジャー「グッドナイト、デュアン・オールマン」(94)</p>		<p>デヴィッド・クロス『メモズ・フロム・ノーバートリー』(91) スタン・リッジウェイ『パーティーボール』(91/「オーバーローズ」収録) 山下達郎『ARTISAN』(91/「アトムの子」収録) ナイトウインズ『ナイトウインズ』(「The Curious Case Of Benjamin Button」収録) ホークウインド『エレクトリック・ティーピー (Electric Teepee)』17(92) ホークウインド『It Is The Business Of The Future To Be Dangerous』18(93) Pモデル『Big Body』(93/「ホモ・ゲシュタルト」収録) マイク・オールドフィールド『遙かなる地球の歌』(94) マスターマインド『トランジック・シンフォニー』(94/「Tiger! Tiger!」収録) ホークウインド『White Zone』19『エイリアン4 (Alien 4)』20(95) ホークウインド『Distant Horizons』21(97) ブルー・オイスター・カルト『Heaven Forbid』(98) ホークウインド『In Your Area』22(99) Dave Schramm『Hammer and Nails』(99/「Ragle Gumm」収録) アラン・パーソンズ『タイム・マシン』(99) ホークウインド『Spacebrock』23(2000) エルドン『Only Chaos is Real』(2000/ノーマン・スピンラッド参加)</p>
2001～	<p>ラリー・カーワン『ビートルズ・ファンタジー』(2003) 清水義範『イマジン』(2004) サラ・ピンスカー『新しい時代への歌』(2019)</p>		<p>ブルー・オイスター・カルト『Curse Of The Hidden Mirror』(2001) ホークウインド『Take Me To Your Leader』24(2005) ホークウインド『Take Me To Your Future』25(2006) ホークウインド『ブラッド・オブ・ジ・アース (Blood of the Earth)』26(2010) ホークウインド『オンワード (Onward)』27(2012) 難波弘之『Childhood's End～幼年期の終り～』(2013/「来るべき世界」「虚無回廊」「今夜限り世界が」「さよならジュピター～木星の彼方へ」「Ultra Q」「柔らかな時計じかけのオレンジ」収録) ホークウインド『The Machine Stops』28(2016) デヴィッド・ボウイ『ブラックスター』(2016) 難波弘之『一生懸命』(2016/「DOOR INTO SUMMER (2016MIX)」 「SPACE CHANTEY(宇宙舟歌～ただし、船酔い気味の)」収録) ホークウインド『Into The Woods』29(2017) アンディ・パートリッジ『Powers』(2017/リチャード・パワーズへのオマージュ・アルバム) ホークウインド『ロード・トゥ・ユートピア (Road to Utopia)』30(2018) Spirits Burning & Michael Moorcock『An Alien Heat』(2018) ホークウインド『オール・アボード・ザ・スカイラーク (All Aboard The Skylark)』31(2019) ブルー・オイスター・カルト『The Symbol Remains』(2020) ホークウインド『ソムニア (夢) (Somnia)』32(2021) PFM『私は電気羊の夢を見た』(2021)</p>